



産直ニュース（農・畜・水産）24週号



生活クラブの産直材は、より美味しくより安心して頂ける様に生産者を指定しています。このため、天候・生育状況等によってはお届け週が予定変更になる場合や、緊急にお知らせが必要な場合もありますので、本ニュースで産地の状況をお知らせします。

生活クラブ関西

*よ・やくる 果物類のお届けは下表をご参考にして下さい。

今後のお届け品スケジュール

単協 事業所	大阪					京都		奈良	滋賀
	茨木	豊能	香里	門真	平野	西	東	奈良	滋賀
24週	小玉スイカ②③(!)		梅酒用生梅(5kg箱+3kg箱)			梅酒用1kg(水金コース)			
	パイナップル(ピーチ種)②			河内晩柑⑨			肥後グリーンメロン①		
25週	小玉スイカ③(!)		さくらんぼ①(!)		梅酒用1kg(火木コース)		落ち梅(!)		
	梅干し用生梅(水金コース)		パイナップル(ポゴール種)⑦			河内晩柑⑩		肥後グリーンメロン②	
26週	さくらんぼ②(中止)		桃(白鳳系)(!)		田中びわ(!)		落ち梅(!)		
	梅干し用生梅(火木コース)		パイナップル(ハワイ種)①			河内晩柑⑪		肥後グリーンメロン③	
27週	桃(白鳳系)(!)								
	パイナップル(ハワイ種)②								

*(!)は調整の可能性有ります。

おしらせ 産地情報

■よやく・る さくらんぼ 落果多発で不作! 2回目御注文分は中止とさせていただきます。

*23週号で産地発送企画の中止をご案内しましたが、作柄的に2回目ご注文分も確保できない状態です。既にご注文いただいた「よやく・る さくらんぼ」で、残念なニュースが飛び込んできました。



6月1日現在の状態

4月下旬に開花し、受粉作業も終わった直後に降雪があったものの、5月上旬段階では無事に着果が確認され、まずまずの作柄…と見込んでいましたが、5月下旬段階で多くの落果が確認され平年の5~6割作の見通しとなっていることが報告されました。昨年の凍霜害による大凶作に続き、生産者にとっては厳しい状況となりそうです。

本来、下の写真(平年作)の様に一つの花芽に多くの着果があり、いくつかは生理落果した後で最終的にこのくらい収穫できる実が残ります。



平年出荷前の状態

↑上写真は今年6月初旬での特徴的な樹の状態です。既に多くの落果が進んだ状態で、これから更に肥大していない実が落果します。写真の中で収穫まで生長するのは1粒か2粒で、その他は茶色く変色して落果する事になりそうです。

園地の場所により状態はマチマチだそうで、生産者もこのような経験はなく原因もわからないそうです。

*1回目の受注分はなんとかお届けできそうです。

余力が出れば、2回目のみの注文組合員の方々にお届けできる様、調整させていただきます。

生産者の北澤さんのコメント

『今年は花の状況、開花時の天候など総合的に見て豊作傾向となっていました。蓋を開けてみると大不作という状況に気持ちの落胆は相当なものです。

去年と比べると少しだけマシな状況ですが、平年と比べると4~5割程度の着果数かと感じています。

数が少ないと今後の天候にも影響されやすく、出荷する頃にどうなっているか想像もつきませんが、美味しいさくらんぼをお届けできればと思っています。』